

宗像市議会議員



おかもと陽子通信

第16号

おかもと

陽子

おかもと 陽子 プロフィール



- 昭和34年6月17日生まれ
- 昭和53年 中村女子高等学校卒業
- 昭和57年 九州大学医療技術短期大学
助産学特別専攻卒業
- 職歴



日立製作所(下松笠戸工場)附属病院・九州大学附属病院
宗像市健康づくり課臨時職員
ママと赤ちゃんの相談室「安暖手」開設を経て
平成18年9月 福岡看護専門学校母性学専任教員として勤務

- 資格: 助産師、看護師、受胎調節実地指導員、思春期保健相談士、国際インファントマッサージ協会インストラクター
- 現議会役職: 予算第1副委員長、建設産業常任委員会委員
- 議会役職歴: 社会常任委員会副委員長 ●公明党: 博多総支部地域サポート副委員長
- 家族/夫、次女、母の4人家族 ●趣味: ヨガ、アロマテラピー、油絵
- 座右の銘: 人間万事塞翁が馬

市民相談
4年間で
480件

痛みを感じる心

寄り添う心を大切に!

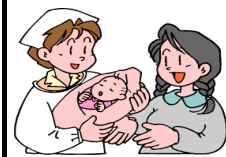
1期4年間、助産師、看護師として、母親としての経験を活かしてまいりました。

おかもと陽子ストーリー

「人の役に立つ仕事に！」と看護師、助産師として社会の第一歩を目指す。携わった出産、育児サポートは500回以上！結婚後、専業主婦として10年間家事と育児に専念。義母の介護や思春期の子育ての難しさを経験し、人の心の痛みを深く理解できるように！同じ悩みで苦しむ人のため、もう一度役に立ちたいと職場復帰を決意。平成11年から宗像市健康づくり課に所属しお母さんの子育てサポートに従事。その後、看護学校教員として約350名の看護師を社会に送り出しました。



1期4年間、医療現場に携わっていた経験を活かし、疾病予防対策
子育てから介護まで様々な課題に取り組み
政策実現！（実績の一部）



出産期

●産後ケアの充実

市内に住所を有し、産後身体の回復や育児に不安をもつ人に対し産後の母体管理、育児指導ができるようしくみを作りました。市が基本7日間、9,000円/1日費用負担。宗像市、福津市4つのクリニックで実施できます。

乳幼児期

●待機児童対策

公明党が実現した子ども子育て3法に基づいて、待機児童対策に取り組み認定こども園の増設が実現！宗像市では平成27年4月から2つの届け出保育所が認可保育所、認定こども園に。第2子を出産し、育休取得しても第1子は保育園を退園しなくてよくなりました！



児童期

●スクールソーシャルワーカー 学校現場に配置

6人に1人と言われている子どもの貧困など、子どもを取り巻く環境は深刻に。子どもが安心して学習できるよう学校現場にスクールソーシャルワーカーの必要性を訴え、現在、城山中学校区1ヶ所に配置されています。



青年期

●奨学金制度の拡充

公明党は、学ぶ意欲のある学生が経済的理由で進学を断念することがないように授業料減免などの拡充を行ってきました。貧困の連鎖を打ち切るために2017年を目途に返済不要の給付型奨学金や希望する全ての学生への無利子型の奨学金貸与を目指し取り組んでいます。

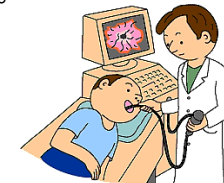


成人期

●医療費の削減

生活習慣病、がん予防

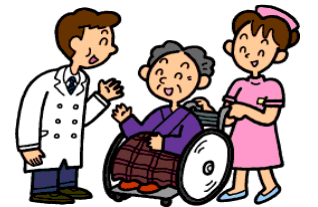
ジェネリック医薬品の使用推進し。これまで4万であった医療費削減額から約450万円の削減額に！がん予防に関しては、特定健診、40歳以上の節目健診に胃がんの原因菌、ピロリ菌検査の導入(2千円補助金)30代(奇数年)女性に子宮頸がんの原因菌であるヒトパピローマウイルス検査(集団2千円、個別3千円補助)の導入が実現。



高齢期

●地域包括ケアシステム

医療、介護が必要な高齢者には質の高いケアを、元気な高齢者は元気で長生きを目指せる生活を地域で提供できるよう、市に一つしかなかった地域包括支援センターの各中学校校区ごとの設置を訴えてきました。第1号として、来年1月城山中学校校区内にセンターが設置されます！



← ●子ども・若者支援センターの設置(産前・産後、青年期に至るまで切れ目のない支援体制を充実) →

